

(記者発表①)

杵築市公共施設等総合管理計画【基本方針】の策定

今年度「杵築市公共施設等総合管理計画策定委員会」を開催し、パブリックコメント（意見募集）を経て「杵築市公共施設等総合管理計画【基本方針】」を策定しました。

【目的】

これまで建設してきた多くの公共施設等が、今後急速に老朽化することが予想されることから、改修や建て替え等に対する多額の財源を確保しなければなりません。現在の厳しい財政状況の中、少子高齢化の進行と人口減少に対応していくため、既存の公共施設等をできるだけ有効活用しながら、長期的な視点で、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことを目的としています。

【内容】

1. 市の現状

① 公共施設

本市が保有する建築物の総延床面積は 19.1 万㎡で、その内、一般的に建物の大規模改修を行う目安とされる、築 30 年を経過した建物の延床面積は 7.6 万㎡（全体の 40%）です。

② 人口

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来人口」等によると、現在 30,887 人の人口が、今から 23 年後の平成 52（2040）年には 22,471 人になると推計されています。

③ 財政状況

収支は、平成 29（2017）年度には単年度で財源不足となる見込みで、その後も財源不足は続きます。財源不足を補うために基金の取り崩しを行うことから、基金も減少していきます。

2. 方針

これらを踏まえて、計画的に施設の集約化や老朽施設の廃止を推進することにより、今後 20 年間で 30%の保有面積を削減する方針で、取り組みを進めます。

3. 今後の取り組み

平成 29（2017）年度から、それぞれの公共施設ごとに、更新・統廃合・長寿命化などの詳細な方針を決定し、「杵築市公共施設等総合管理計画【個別方針】」（仮称）を策定します。その結果に基づいて更新・統廃合・長寿命化を推進していきます。

担当：財政課

管財係（加藤）

TEL：0978-62-1803(203)